

中路融人

素描展

写生とは、
そのものの形を
とるだけではなく、
その生命や質感をも
表現するということ。

融人

令和8年6月6日(土)～8月2日(日)

会期中の休館日／毎週月曜日(7月20日は開館)、7月21日、22日

時 間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料／大人300(250)円、小中学生150(100)円 ※()内は20名以上の団体料金

会 場／中路融人記念館

東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館



「暮色」

中路融人 素描展

中路融人記念館のコレクションは、日本画家中路融人の本画だけでなく素描や下絵を多く含んでいるのが特徴です。特に素描(スケッチ)作品は、中路自身が各地に赴きその場で描いたものであり、当時の中路が見たこと、感じたことがいきいきと鮮やかに表現されています。また、写生を重んじていた中路にとって、素描作品は創作の原点ともいえ、画家としての根底をなす貴重なものです。

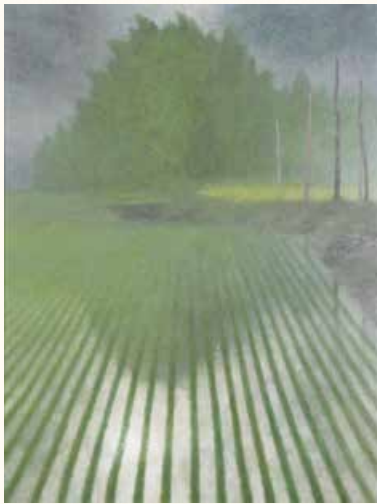
本展は、素描作品を多く有する当館ならではの企画展です。中路がどのような場所を描いたか、素描をもとにどのような本画が生まれたかなど、様々な視点から魅力を紹介します。



「石橋下より」



「樹林」



「気」



「比叡の杉」

次回
予告

—中路融人記念館は開館10周年を迎えました—

開館10周年記念展

「まなうらの榛の木—心の原風景—」

令和8年9月1日(火)~11月29日(日)

様々な湖国の情景を残した中路融人が特に思い入れのあった榛の木のある風景。今はなき湖北の原風景を描いた作品の魅力にせまります。



「朝霧の川」

近江商人博物館で同時開催

<太陽からの風>

小嶋太郎オーロラとの遭遇
「七彩天目・緑のキセキ」

6月27日(土)~8月30日(日)

東近江市名誉市民の陶芸家・小嶋太郎氏が長年取組んできたオーロラを題材にした作品を展示します。



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地 (てんびんの里文化学習センター内)
TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134 URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

- 開館時間 / 午前9時30分~午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 月曜日・祝日の翌日・年末年始 (臨時休館あり)
- 入館料 / 大人300円 (250円) 小中学生150円 (100円) ※ () 内は20名以上の団体料金
- 交通機関 / JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」または「ぶらざ三方よし前」下車徒歩約15分
- ・近江鉄道 五箇荘駅から徒歩約25分
- ・名神高速道路 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、彦根ICから車で約40分

